

TNM&TOPPANミュージアムシアター 来場者数 10 万人を達成

東京国立博物館(所在地:東京都台東区、館長:銭谷眞美)と凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)が2007 年 11 月に開設した東京国立博物館資料館 TNM&TOPPANミュージアムシアターは、2012 年 5 月 11 日(金)に来場者数 10 万人を達成しました。

東京国立博物館と凸版印刷は、2007 年より文化財の新しい公開手法を検証する共同プロジェクトとして、VR 作品の制作・公開活動を行っている TNM&TOPPAN ミュージアムシアターにおいて、座席数 30 席で毎週金～日曜日と祝日に 1 日 6 回の上演を行っており、一回あたりの平均入場者数が定員の約 80% に上るなど、ご好評いただいています。共同プロジェクトでは、これまで東京国立博物館の収蔵品をテーマにその魅力を伝える VR 作品を共同で 4 作品を制作しており、現在上演中の「洛中洛外図屏風 舟木本」はその 3 作品目となります。この作品は、2009 年に高精細デジタル撮影と色彩計測技術を用いて、『重要文化財『洛中洛外図屏風(舟木本)』をデジタルアーカイブ化し、そのデジタルアーカイブデータを利用して制作しました。

10万人を達成した2012年5月11日(金)12時の上演回では、東京国立博物館館長 銭谷眞美、凸版印刷株式会社文化事業推進本部本部長 中村直靖からの挨拶につづき、記念品を贈呈いたしました。銭谷からは、「これからのミュージアムシアターの活動にもご期待いただきたい」、中村からは「今後も収蔵品をテーマとした VR 作品やアーカイブデータを活用した、デジタルならではの鑑賞体験を提供していきたい」との挨拶がありました。

今回の記念品は、VR作品の制作に用いたデジタルアーカイブデータを活用し、その一部を切り出して制作した「洛中洛外図屏風(舟木本)」の高品位複製品です。祇園祭で鎧武者(よろいむしゃ)が、「母衣(ほろ)」を背負って祭りを盛り上げている部分で「洛中洛外図屏風舟木本」の中でも特にこの絵に描かれる人々の文化や暮らしの活気が伝わる場面です。

代表して記念品をお受け取りいただいた葛飾区からお越しの女性は、何度もシアターに足をお運びいただいております。「今回の上演もとても面白く、ガラスケースのむこうでは小さくて見えない細かな表情などもよく見えた。また歴史的な背景なども説明してもらえてよく分かった」と感想をいただきました。

TNM&TOPPAN ミュージアムシアターでは、これからもさらに多くのお客様にお楽しみいただける上演活動を行ってまいります。



館長の銭谷より記念品の贈呈



記念品の「洛中洛外図屏風舟木本」の高品位複製品

以上

【TNM&TOPPAN ミュージアムシアターのご利用案内】

場 所：東京国立博物館 資料館

上演日: 金・土・日・祝日

上演開始: 10:00/11:00/12:00/14:00/15:00/16:00

※ 当日予約制です。所要時間は約30分です。

受付場所: 本館1Fエントランス

観覧料: 無料(ただし、東京国立博物館入館料が必要)

シアターウェブサイト: <http://www.toppan-vr.jp/mt/>

【報道に関する】

【限定に限り、
お問合せ・掲載用写真について】

凸版印刷株式会社 文化事業推進本部
パブリシティ企画チーム

E-mail bunkajigyo@toppan.co.jp

TEL 03-5840-4899 FAX 03-5840-1910

東京国立博物館 広報室

TEL 03-3822-1302 FAX 03-3822-2081